

標準型電子カルテα版の開発 (令和5年度補正予算 12.9億円)

【事業概要】

- 医療DXの推進に関する工程表(令和5年6月2日)において、電子カルテ情報の共有化を進め、正確な情報に基づく質の高い医療の提供を目指すこととされている。
- 現状の電子カルテは情報共有を見据えた標準化が行われておらず、そもそも電カル未導入の医療機関も多いことから、今後、①導入済み医療機関の電カルの標準化を進めるとともに、**②未導入医療機関に対して「標準型電子カルテ」(標準規格に準拠したクラウドベースの電子カルテ)を提供すること**としている。
- 医療DX工程表においては、遅くとも2030年までに概ねすべての医療機関で標準化された電子カルテの導入を目指すこととされ、令和5年度に標準型電子カルテの要件定義、**令和6年度中に開発と一部医療機関での試行実施を行う。**

【イメージ】

